



船橋市議会副議長

立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan

# 浦田秀夫通信

自宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL・FAX 047- 466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL・FAX 047- 461-1350

号外 (2019年3月)

メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ浦田秀夫で検索

## 児童相談所設置へ 新年度予算

平成 31 年度船橋市議会第 1 回定例会が、2 月 15 日から 3 月 26 日の会期で開催されています。市長からは、総額 2,121 億 6 千万円 (前年比 2.0%増) の一般会計予算などが提出されました。主な予算の内容や課題についてご報告します。

### 2025 年開設をめざして

市は、新年度予算に児童相談所の開設を準備するための予算を盛り込みました。

2025 年春の開所をめざして、専門家のアドバイスを受けながら設置や運営に関する具体的な調査や検討するための予算が計上されました。

また、開設場所として、JR 南船橋駅南口の市有地に開設することも明らかにしました。

市長は、1 期目、2 期目の市長選挙で市独自の児童相談所を設置することを公約しました。

しかし、具体的な準備が進んでいないとする平成 29 年度第 1 回定例会での私の質問に対し「市が独自に行うことで、シームレス (継ぎ目のない) 支援、一貫した支援ができるという大きなメリットがあり、絶対にやり遂げなければいけないと考えており、鋭意取り組んでいきたい」と答弁しました。

今回ようやく具体的に動き出すことになりましたが、市独自の児童相談所の設置は野田市の小学校 4 年生の栗原心愛さんの死亡事件などをも踏まえ、親の虐待から子どもの命を守るために喫緊の課題です。

職員配置や整備費用、経常経費の確保など課題もありますが、一刻も早く開設するよう求めて行きます。



### バイオマス発電 4 月開始

西浦下水処理場で下水の汚泥やし尿、生ゴミなどを発酵させることで発生するメタンガス (消化ガス) を使った発電が 4 月から始まります。

資源の有効活用や地球温暖化対策として行うもので、発電された電力は固定価格制度で 20 年間売電されます。

発電量は年間約 432 万 KW で約 970 世帯分の電力を賄います。

高瀬下水処理場でも 2021 年から発電を行うために消化ガスを発生させる「消化槽」の設置費が新年度予算に計上されました。

西浦下水処理場では小水力発電の実証実験も行われています。



### 学校トイレの洋式化は 6 校

学校トイレの洋式化については、30 年度補正予算で 6 校分が予算化されました。

市は、平成 28 年度に 10 年間で全ての小中学校のトイレを洋式化する計画を明らかにし、市長も選挙公約に掲げましたが、平成 30 年度の当初予算では、財政難を理由に 1 校も予算計上しませんでした。

今回補正予算された 6 校分は来年度に工事が

行われます。

また、市はトイレ改修方法を見直して、改修系統数を 137 系統から 104 系統にし、事業費が当初見込みの 100 億円から 39 億円になったことを明らかにしました。

トイレの洋式化の促進を求めています。

## 就学援助費の拡充

経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対する就学援助費の内、入学の準備に要する費用について、小学校は 50,600 円、中学校は 57,400 円へそれぞれ 1 万円引き上げられます。

また、新たに卒業アルバム代が小学校は 10,890 円、中学校は 8,710 円支給されます。

## 洪水ハザードマップの改定

市内の主要な河川で洪水が発生した場合に、市民の安全な避難に役立つよう、浸水想定区域を示した洪水ハザードマップが改定され、全世帯に配布されます。

## マンホールトイレの整備

災害発生時のトイレ不足や避難所における衛生対策や健康確保のため、避難所などにマンホールトイレを計画的に整備しています。

平成 31 年度は海神小学校に 5 基が整備されます。

## 消防古和釜分署/訓練センターの開所

古和釜・松が丘地区に整備を進めている消防分署及び消防訓練センターが、平成 31 年 4 月に開所します。

消防力の充実・強化を図るとともに、複雑多様化する各種災害の発生に備え、消防職員及び消防団員の災害対応能力の向上が図られることとなります。

## 障害者の地域での生活支援体制整備

障害者の相談窓口やサービス提供をする事業者など関係者間の連携を円滑にするコーディネーターが新たに配置されます。

親亡き後を見据えて、緊急時の相談や受け入れに適切に対応するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体で支える体制が整備されます。

## 特別養護老人ホーム 200 床整備

特別養護老人ホームの入所待機者対策として、施設整備を行う社会福祉法人に対し、整備費の一部を助成して 200 床を整備します。

## 乳がん検診、対象全員に受診券送付

乳がん検診の申し込み制を廃止し、検診の対象となる 30 歳以上の偶数年齢の女性全員に受診券を送付し、受診率の向上を図ります。

## 待機児童は解消されない

保育所の待機児童が特に多い地域を重点化して、認可保育所及び小規模保育事業の施設整備を促進します。

また、幼稚園における一時預かり事業の充実を図るため施設の改修費用の一部を助成します。

しかし、平成 30 年度は 12 施設 803 人分の定員増を図りましたが、31 年度予算では 4 施設 234 人分の定員増に止まっています。

幼児教育・保育の無償化が 31 年 10 月から始まりますが、待機児童は解消されず、認可保育所に入れる方と入れない方との新たな格差が生じることとなります。

## 運動部活動指導員の派遣

中学校の運動部活動において、生徒への専門的な指導を行うため、専門的知識・技能を備えた指導員を派遣することで、部活動を充実させるとともに、教職員の負担軽減を図ります。

31 年度は 10 人分の指導員派遣が予算化されました。

## 取掛西貝塚の保存・整備

全国的にも貴重な約 1 万年前の遺跡である取掛西貝塚について、平成 33 年度中の国史跡指定を目指し、平成 31 年度は申請に必要な報告書の作成にむけて最終の学術調査が行なわれます。

## LGBT の交流会を開催

性的少数者 (LGBT) の居場所作りとして交流会を開催し、孤独感や悩みの解消をはかるとともに、市の窓口において職員が適切に対応できるよう研修等を強化します。